

チーム



東海大学“シーガルズ”(日本)

SEAGULLSの愛称を持つ東海大学男子バスケットボール部は、全日本大学バスケットボール選手権大会を含む多くの国内大会で表彰台上りました。

数々の日本代表選手をはじめ、B.LEAGUE所属のプロ選手を国内の大学の中で最も多く輩出しています。

選手	ポジション	#
松崎 裕樹	F	24
黒川 虎徹	PG	0
元田 大陽	SG	1
ハーパー ジャンJR	PG	3
小玉 大智	PF	4
前野 幹太	F	7
張 正亮	C	10
金近 廉	F	13
島谷 怜	PG	15
西田 公陽	SG	16
西田 陽成	SG	18
江原 信太郎	PF	25
元澤 誠	G	2
鈴木 暉将	SG	14
大久保 颯大	PG	22
君座 武志	PF	23
小林 巧	PG	26
御林 広樹	PF	38

コーチ/スタッフ

ヘッドコーチ	陸川 章
アシスタントコーチ	西尾 昂也



ペリタハラパン大学 (UPH) “イーグルス”(インドネシア)

The Eaglesの愛称で呼ばれるペリタハラパン大学 (UPH) の男子バスケットボールチームは、インドネシアの大学リーグであるLIMAの大会において、数多くの優勝回数を誇り、直近でも優勝を勝ち取っているトップの大学です。

選手	ポジション	#
アーロン・ナサニアル	G	7
アルディ・イザトゥール	F	1
アルマンド・ネパバイト	C	15
アンドリュー・レンサン	F	13
ダリル・セバスチャン	F	8
ホセア・ダルマワン	F	30
ケルヴィン・サンジャヤ	C	27
レオナルド・インダルト	G	11
マリオ・デイビッドソン	G	10
ラルフ・ムリア	F	0
リヴァルド・プアダーウェ	F	24
ヴァレンティヌス・ウォングソ	G	3
ヨフィエン・エンドリアン	F	23
ヨスア・オット	C	21

コーチ/スタッフ

ヘッドコーチ	スティーブン・メットカルフ
アシスタントコーチ	チャンドラ・プラセティア



国立政治大学 (NCCU) “グリフィズ”(チャイニーズタイペイ)

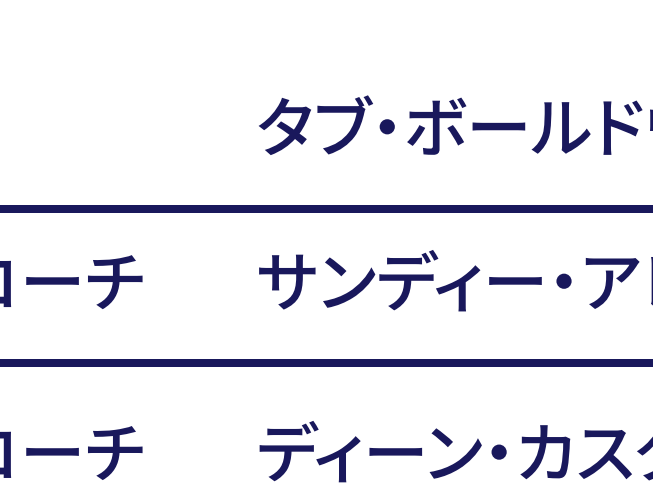
Griffinsの名で呼ばれる国立政治大学 (NCCU) の男子バスケットボールチームは、2017年に創設された若いチームにも関わらず、直近の大学リーグやカップにおいて多くの優勝を勝ち取っています。

NCCUは95年の歴史を誇り、グリフィズは在校生や卒業生からなる数多くのファンベースを持っています。

選手	ポジション	#
ツァン・ツェン・ヤ	F	15
リ・ユン・ジェ	F	8
ホアン・ツ・シュエン	F	24
トユ・イー・ハン	F	12
リン・イェン・ティン	G	1
リン・リー	G	3
ヨー・アイ・ツァ	G	7
ワン・カイ・ユウ	F	42
ツァン・ツァオ・スン	G	9
ツォン・リ・シャアン	F	10
ソン・シー・ハオ	G	0
ウー・ツー・カイ	F	23
モハメッド・ラミーン・マバイエ	C	4
アルマミー・ドレイム	C	11

コーチ/スタッフ

ヘッドコーチ	チェン・ツー・ウェイ
アシスタントコーチ	ファン・クン・シャアン



アテネオ・デ・マニラ大学 “ブルー・イーグルス”(フィリピン)

Blue Eaglesの名で愛されるアテネオ・デ・マニラ大学の男子バスケットボールチームは、B.LEAGUEでも活躍するサーディ・ラベナ、キーファー・ラベナ、ドワイト・ラモスなどフィリピンを代表する選手を多く輩出する屈指の大学です。

フィリピンのUAAP(フィリピン大学体育協会)のリーグにおいて、これまで多くの優勝を勝ち取っています。

選手	ポジション	#
BJ・アンドラーデ	G	2
ゲオ・チュウ	C	18
チュウ・デーブス	F	21
ガブ・ゴメス	G	13
デーブ・イルデフォンソ	F	10
クリス・クーン	F	6
アンジェ・コアメ	C	34
ジョシュ・ラザーロ	F	16
フォルスキー・パドリガオ	G	15
カイル・オン	C	22
ショーン・キテビス	F	24
ヤコブ・ラオ	G	11
カイノア・バルンガイ	F	1
アンドリュー・ボンゴ	F	3
イナンド・フォルニロス	F	70
ジョセフ・オバサ	C	25
JC・フェタルヴェロ	G	17
ポール・ガルシア	G	0

コーチ/スタッフ

ヘッドコーチ	タブ・ボールドウィン
アシスタントコーチ	サンディー・アレスパコチャガ
アシスタントコーチ	ディーン・カスターニョ
アシスタントコーチ	サンドロ・ソラニオ